

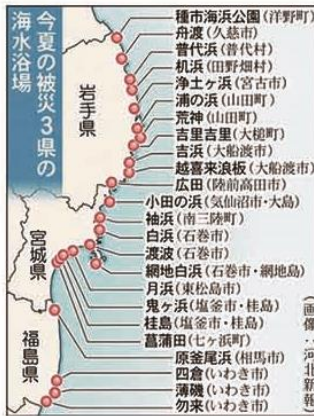
東北3県で続々と海開き



▲8年ぶりに海開きした宮城県石巻市の遼波海水浴場で遊ぶ地元の中学生=21日午前
▼こちらも8年ぶりに海開きした原釜尾浜海水浴場の波打ち際で遊ぶ子どもたち=21日午前、福島県相馬市(画像:産経フォト)



震災前、被災3県には計約70カ所の海水浴場があった。防潮堤工事の終了時期に合わせて復旧を計画する自治体もある。気仙沼市は休止中の3カ所を来夏から毎年1カ所ずつ再開させる方針だ。



東日本大震災の津波で大きな被害に遭った福島県相馬市の原釜尾浜海水浴場と宮城県石巻市の遼波海水浴場が21日、津波被害の復旧を終え、8年ぶりに海開きした。原釜尾浜海水浴場には、震災と東京電力福島第1原発事故前は遊泳期間中に毎年3万5千人が訪れていた。相馬市が2015年から始めた水質検査では、放射性物質は国の基準値以下が続く、防波堤の復旧工事が完了し、8月19日まで6軒の海の家が営業する。

(2018.7.21 産経新聞、2018.7.14 河北新報)



MONTHLY

「東北に黒糖を送ろう!大作戦しんぶん」改め
復興支援『すけきた』しんぶん
かめざん

「すけきた」とは
宮城県登米市あたりの言葉で
「ボランティアに来たよ」という
意味である。



午後2時46分キックオフ



(画像:電気新聞)

サッカーナショナルトレーニングセンター「Jヴィレッジ」は、東日本大震災の発生後、2011年3月18日からは福島第一原子力発電所廃炉作業の前線基地となっていました。「センターピッチと呼んでいる3x5番ピッチ全面に高さ40cmにもおよぶ砂利を敷いて駐車場にしてみました。事故発生当時、芝を大切に育ててくださった方をお願いして、芝生を刈つてもらって砂利をまいたんです。作業をしながら涙を浮かべておられて、本当に申し訳なくて…。今回、車に踏みしめられたピッチをまた芝生に戻すため、いったん全部掘り起こしてやり直しました。」(Jヴィレッジ復興推進グループマネージャー 児玉達朗さん)
2018年7月28日、震災が発生した午後2時46分止まったままだったメインスタジアムの時計は、地元中学生によるエキシビジョンマッチのキックオフによって再び時を刻み始めました。

(2018.7.31 電気新聞、2018.3.22 EMIRA「Jヴィレッジ」復興プロジェクト)



センターピッチは作業員のための駐車場に使われていました
(画像:Jヴィレッジ)

結まーち あげぽのホストのたびまつり

歌津復興 夏祭り

おどろろろ未来の夢へ

8月5日(日)
10:00-20:30

会場:南三陸ハマーレ歌津特設会場
宮城県南三陸郡南三陸町伊豆野崎
※雨天決行(雨天決行の場合は、会場:南三陸町中学校体育館
※雨天決行は8月14日(火)開催

主催:歌津復興夏まつり実行委員会 0226-36-3117

歌津夏祭り今年も開催
漂着ポストのご縁で結ばれた宮城県南三陸町歌津の夏祭り、今年の開催は8月5日!今回はお伺いできませんので、西表島よりご盛会をお祈りいたします。